



ALLIANCEBERNSTEIN

# サステナブル・ グローバル・テーマ 株式運用戦略

---

2021年インパクト・レポート

# はじめに

責任ある投資家がより良い選択を行うためには、企業が社会を良くするためにどのような貢献を行っているかを明確に理解することが不可欠である。

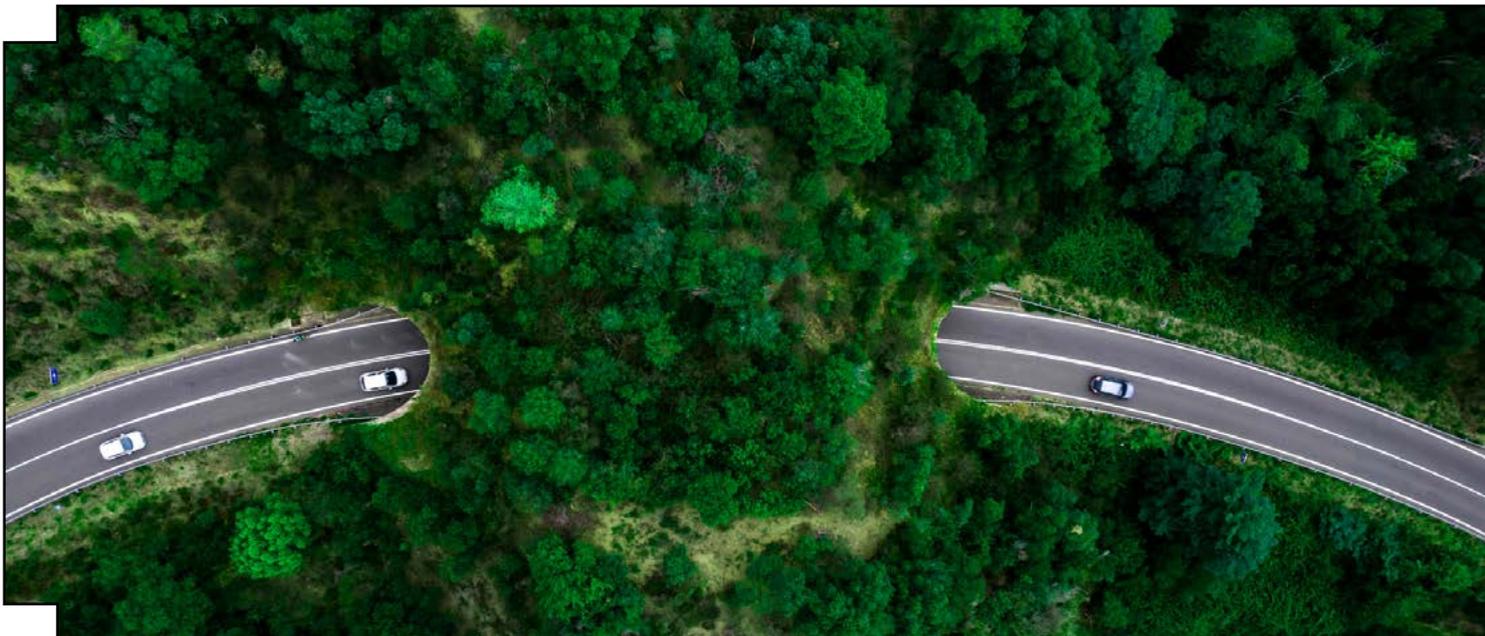
持続可能性と社会的発展を促進するグローバルな取り組みには、上場企業の積極的関与が必要である。多くの従業員を擁する巨大な組織であり、世界の隅々まで製品やサービスを届ける上場企業は、この移行プロセスに不可欠な存在である。

このような背景から、投資家は、企業が果たして社会と株主の双方にとって望ましい行動を取っているかを見極めようとする姿勢を強めている。しかし、企業の社会的価値を測定することはときに困難である。環境及び社会面での発展であれ、ガバナンスの向上であれ、それら进行评估するにはデータは足りず、測定困難な基準が多く存在する。アライアンス・バーンスタイン（以下、「AB」）は、責任ある投資家がより良い評価及び選択を行うためには、企業がどのようにして、より良い社会を創るために貢献しているかを明確に理解することが不可欠であると考えます。

投資家及び社会的ステークホルダーとして、我々は厳しい質問をしなければならない。世界が直面する持続可能性にかかわる課題の中で、最も困難なものは何か？ 企業は改善や革新の要求に対し、どのように応えているか？ そして、我々の投資先が、未来の世界をより持続可能で公正なものにしていくことへの確信をどのように高めていくか？

企業が社会に影響を及ぼす方法は、主に、ハンドプリントとフットプリントの2つである。二酸化炭素排出量を指標とし、組織が環境に与える影響を測定するための最も一般的な手法であるカーボン・フットプリントについては良く知られているが、ABは、この概念を拡張し、事業が世界に与えるより広義の影響を説明するために利用できると考える。企業の「ハンドプリント」とは、その製品やサービスが社会や環境に与える良い影響を指す概念であり、「フットプリント」は、その事業活動や投資が世界に与える影響を示している。

企業のハンドプリント及びフットプリントがどのように我々の世界を変えるかを理解することは、責任ある投資に向けての第一歩である。本レポートは、サステナブル・テーマに基づく投資家としてのABの目的及び進展を示すものである。



# 目次

---

## 概要

### 注目すべきポイント：カーボン・ハンドプリントの導入

### ABサステナブル・グローバル・テーマ株式運用戦略のアプローチ

- ABのプロセス
- 投資テーマ：気候
- 投資テーマ：健康
- 投資テーマ：エンパワーメント

### ABのアプローチ：インパクトの測定

- 企業の「インパクト」を理解する
- 製品からのインパクト
- 企業行動へのインパクト

### エンゲージメント

- 企業行動：変化をもたらすエンゲージメント
- エンゲージメントの実践

### ABのコミットメント

- 進行中のリサーチ
- リサーチの歴史
- 運用チーム
- 次の目的地

## 概要



世界は成長とともに急速に変化している。2021年末時点の地球の人口は79億人であり、2050年までに100億人以上に膨れ上がると予想されている。これは、現在より20%以上も多い人口に対し、食料、住居及びケアサービスを提供し、その廃棄物を処理しなければならないことを意味している。

持続可能な社会を創ることは、もはや単なる憧れの目標ではない。世界経済が成長を続け、人類が繁栄していくために必要なことである。全人類の生活の質は、各国政府及び上場・非上場企業の手を合わせた取り組みにかかっている。我々は、仕事、移動、生産、そしてヘルスケア、食料及び水、教育、雇用、情報の提供のあり方を見直すことにより、世界経済の基盤インフラを再構築しなければならない。

コロナ禍の中、投資家は、持続可能性の緊急性をより強く意識するようになった。パンデミック以前、経済的課題と社会的課題は異なる次元の問題だというのが一般的な認識であった。株主に利益をもたらすことが企業の至上命題であり、従業員、顧客、地域社会等他のステークホルダーはこの次にされていた。しかし、今日、企業のすべての経済活動が、顧客や社会との関係性に深く結びついていることは明白である。

強大な社会の勢いが事業に影響を与えており、企業の成長への道筋やリターンをもた

らず潜在力に関する投資の知見を理解するための重要な要素となっている。

ABはステークホルダー資本主義を支持しているが、これは、企業が、株主のみならず、全てのステークホルダーのニーズを考慮したとき、より大きな経済価値を生み出すという考え方である。企業が事業を行う地域社会の社会的・環境的健全性に配慮し、持続可能な事業活動を実践すれば、その企業はより大きな経済的な成功を収めるであろう。

これらの原則は、ABの銘柄選定及びポートフォリオ構築プロセスの指針となっている。本レポートでは、ABが責任投資の実践を改善させる方法について年々理解を深めていることを踏まえ、その進展状況をお伝えしようと思う。

日頃のご支援に改めてお礼申し上げます。

ダン・ロアティ

アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー  
サステナブル・グローバル・テーマ  
株式運用 最高投資責任者

# 注目すべきポイント：カーボン・ハンドプリントの導入

環境への意識が高い投資家は、気候変動問題に対応したポートフォリオへの関心を高めている。そして、2021年11月に開催された国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）以降、念頭に置かれているのは、二酸化炭素排出ネットゼロの追求である。だが、株式投資家にとって、ネットゼロは何を意味するのだろうか？

多くのポートフォリオ・マネジャーが、カーボン・フットプリントの数値が低い企業を見つけることで、気候変動問題に対応しようとしている。このアプローチには利点があり、パッシブ・ポートフォリオにおいて非常に良く使われる手法である。しかし、ABは、これ以外に、気候問題に対応した投資のための極めて有効な別の視点があると考えます。ABは、投資家はカーボン・フットプリントに代わって、企業のカーボン・ハンドプリントに着目すべきと考えます。企業が環境に与える負の影響を測定するカーボン・フットプリントとは対照的に、カーボン・ハンドプリントは、企業がグローバルな気候関連課題に前向きな対応を行っていることを示すものである。

カーボン・ハンドプリントの高い企業は、カーボン・フットプリントの数値も低いとは限らない。しかし、それら企業は世界の二酸化炭素濃度を減らすための取り組みの最前線に立ち、多くの

企業が、低炭素経済への移行を後押しする製品やサービスや、気候変動の物理的影響に対する地域社会の回復力を高めるような製品やサービスを提供している。

それでは、投資家は低炭素経済への移行にどのようにかわれば良いのだろうか？ 多くの場合、気候問題にフォーカスしたファンドは、再生可能エネルギー等の注目度の高い業界に狭くフォーカスした一面的なものとなっている。投資家は、より多面的なアプローチを採ることによって、クリーンエネルギーへの流れだけでなく、資源の有効活用、交通、農業、水、インフラ等の分野における変化を把握することができるようになる。

例えば、フィンランドの石油精製企業である**ネステ**は、廃棄された動物性油脂や残留物及び植物性油脂から再生ディーゼル燃料を生産している。素材分野では、オランダの**DSM**が改良型飼料を生産し、農業・畜産由来の温室効果ガス排出の最大の原因である腸内メタンガス排出を削減している。テキサス州ヒューストンに本拠を置く**ウエスト・マネジメント**は、廃棄物処理、回収トラック、及び埋立地のメタンガスから二酸化炭素を排出している。しかし、同社のカーボン・ハンドプリントによるポジティブな影響は、カーボン・フットプリントによるネガティブな影響の3.3倍に上る。

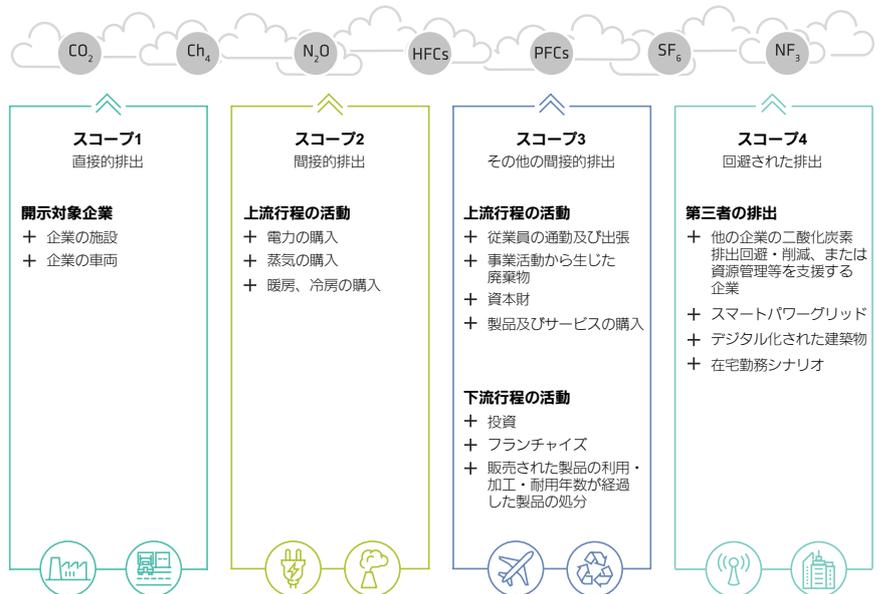
## 二酸化炭素排出の4つの「スコープ」

二酸化炭素排出の4つのスコープを理解することは、投資家が企業のハンドプリント及びフットプリントを把握することに役立つ。

**スコープ1及び2**：企業の事業活動から発生する直接的または間接的な排出。

**スコープ3**：企業のバリューチェーンにおいて発生するさまざまな間接的な排出。

**スコープ4**：製品及びサービスの利用により回避された二酸化炭素排出は、気候変動対応策を講じている企業を探すための有効な指針となる。



図表は例示のみを目的としています。  
出所：AB

スコープ4の排出の重要性を理解するための好例として、**ヴェスタス・ウィンド・システムズ**がある。同社の風力タービン製造から生じるスコープ1及びスコープ2の排出は、その製品を使うことにより回避される排出量に比べれば小さなものとなる。実際、同社の試算によれば、一台の風力タービンが回避する排出量は、それを製造する工程で生じる排出量の40倍である。

気候変動に対処するための特効薬は存在しない。したがって、数多くの異なるテクノロジーが多様なスピードで進化し、世界の二

酸化炭素排出問題の解決に大きく貢献するであろう。ABは、株式投資家にとって、永続的なカーボン・ハンドプリントを有する多様な企業を取り込むことが、望ましい環境の変化と持続可能な株式ポートフォリオにおける堅固な長期リターンの可能性を促進すると考える。さらに詳細な情報については、ABプロフェッショナルによるブログ「[知の広場](#)」に掲載している『[カーボンハンドプリント：株式投資家の気候変動への取り組みにおける鍵](#)』をご参照いただきたい。

# ABのアプローチを定義する

サステナブルなテーマ

- 気候
- 健康
- エンパワーメント

## プロセスの説明

我々は試練の時代に生きており、世界はかつてない環境・社会・ガバナンス (ESG) の課題に対する解決策を模索している。しかし、これらの課題はまた、社会の発展に貢献する企業に投資しながら高い財務的リターンを求める株式投資家にとってのチャンスを創造している。

ABのサステナブル・テーマ株式運用戦略は、上述の2つの目的を同時に追求することに特化したものである。当戦略は、国際連合の持続可能な開発目標 (SDGs) に立脚しており、投資プロセスにおけるあらゆる投資意思決定にESGの要素を取り入れている。ABはこのプロセスを通じ、市場の中で最も説得力のあると考えるサステナブル・テーマの投資機会を特定し、確信度の高いポートフォリオを構築する。

SDGsに貢献する投資領域



ABの投資ユニバースは、国際連合のSDGs (持続可能な開発目標) に基づいて構築されている。それぞれの目標に対し、気候、健康、エンパワーメントの投資領域でその目標達成に貢献する製品やサービスを探索する。そして、その製品やサービスを提供している企業を特定し、投資ユニバースを構築する。

### 1. サステナブル・テーマ

ABは、サステナブル・テーマのフレームワークが、今後数十年の世界を形成する将来的トレンドの特定に役立つものと考えている。

銘柄選択

- ファンダメンタルズの強さ
- 持続的な追い風
- ステークホルダーに寄り添った経営
- 魅力的なリスク/リワード
- 経営陣との対話

### 2. SDGsに貢献する投資領域

ABの投資ユニバースは、SDGsを起点として構築される。ABは、各々の目標に対し、その達成に貢献する製品やサービスを特定する。次に、ABは、これらの製品やサービスから収益を得ている企業を見出す。このトップダウンのプロセスが、ABのサステナブル投資ユニバースを創出する。ABの投資ユニバースの調整及び除外に関するさらに詳しい情報については『[除外ポリシー](#)』(英語)をご参照いただきたい。

ABサステナブル・グローバル・テーマ株式運用戦略

ABは、望ましい社会と環境の実現に貢献する投資を通じた資産成長の達成を目指す。

### 3. 銘柄選択

ある企業がSDGsに貢献していても、それだけでポートフォリオに組み入れる訳ではない。ESGを加味したファンダメンタル・リサーチと、それを強化する経営陣へのエンゲージメントが、投資候補の評価に不可欠である。ABは、銘柄選択にあたってプライベート・エクイティのような思考様式を用い、短期的なバリュエーションよりも経済価値の創出を重視する。

財務的・社会的影響の測定及び報告

ABは、投資ポートフォリオの財務的成果と社会的成果の両方を開示する。財務情報の開示は標準化されているが、社会的成果の把握はより難易度が高い。ABは、自社の投資が社会にどのような良い影響及び悪い影響を与えているかを開示すべく努める。

# 気候

気候変動を食い止めるための取り組みが世界的に活発化している。ABはエネルギー生産、製造、建設、輸送、農業、衛生などの分野で、全般的な資源効率を改善し、環境に好ましい影響を与えるソリューションを提供する企業に投資している。

## クリーンエネルギー



劇的なコスト削減と幅広い市民の支持が、再生可能エネルギーへの世界的なシフトを促している。再生可能エネルギーがより経済的になるのに伴い、ABは発電、送電、貯蔵システム、スマートグリッド向けに低炭素・無炭素の製品やサービスを提供する企業に投資している。

## 衛生とリサイクル



優れた衛生システムとリサイクルは、健康的で持続可能な生活空間を支えている。ABは廃棄物の回収、環境に配慮した廃棄物処理やリサイクル、廃棄物管理技術、廃水処理を提供する企業に投資している。

## 資源の効率利用



持続可能な発展には、経済成長を資源利用や環境破壊から分断する必要がある。ABは工業・商業プロセス、自治体運営、商業ビル及び住宅、電子製品の資源効率やエネルギー効率の向上に貢献している企業や、自社の事業を持続可能な形で管理する上で卓越したリーダーシップを発揮している企業に投資している。

## サステナブル・モビリティ



サステナブル・モビリティは、アクセスしやすく、安全で、効率的で、クリーンなものである。ABは電気自動車や自律走行車の製造、渋滞の緩和、燃料効率の改善、道路や航空輸送の排出量削減を目的とした製品やサービスなど、公共、民間、商業用の持続可能な移動手段を提供する企業に投資している。

## SDGsへの貢献：「気候」テーマに基づく組み入れ銘柄の例

ポートフォリオの気候テーマに属する企業は、気候変動の課題解決に貢献する製品やサービスを提供している。各企業は、SDGsに貢献する製品及びサービスからの収益に基づき評価される。SDGsに貢献する収益エクスポージャーが最も高い企業の例を次に示す。

	アメリカン・ウォーター・ワークス	ANSYS	フレックス
	<p>アメリカ大陸最大の公益水道事業会社。同社は飲料水、下水処理その他関連サービスを4,600万人以上の米国及びカナダの人々に提供し、年間30億ガロンの水をリサイクルしている。</p>	<p>製品設計、検査及び運用のためのマルチフィジックス・エンジニアリング・シミュレーション・ソフトウェアのマーケット・リーダーであり、世界中の顧客に製品及びサービスを提供している。シミュレーション・ソフトウェアは、企業が、自社製品がさまざまな環境下でどのように機能するかを評価し、物理的な試作品よりも低コストで品質、安全性及び信頼性を高めることを可能にする。これは、資源の利用及び廃棄を減らすことに繋がる。</p>	<p>グローバルに展開する製造ソリューションプロバイダー。同社は、廃棄物削減、製品の再利用及び全般的な環境の持続可能性に係るプログラムを通じ、接続性、安全性及びイノベーションを実現する数多くの製品及びサービスを提供している。</p>
主要な関連SDGs			
サブテーマ	衛生とリサイクル	資源の効率利用	資源の効率利用
SDGsに貢献する収益の割合	100%	100%	100%
SDGsに貢献する製品・サービス	水道事業	製造・設計ソフトウェア	委託製造
エンゲージメント・トピックの実例	二酸化炭素排出、気候変動のせい弱性、従業員の健康及び安全、経営陣報酬のESG課題への運動	二酸化炭素排出、人材開発、プライバシー及びデータセキュリティ、ダイバーシティ&インクルージョン	電子・電気廃棄物、従業員の健康及び安全、サプライチェーン・リスク

# ケーススタディー：ウルフスピード

## 企業概要：

ウルフスピードは、シリコンから炭化ケイ素（SiC）への移行をけん引する企業である。SiCはその特性上、高出力の機器における効率性が従来のシリコンより高く、それによって半導体市場の将来図を塗り替えるかもしれない素材である。同社の技術は、電気自動車への移行、より速い5Gネットワークへの移行、再生可能エネルギー及びエネルギー貯蔵の発展、及び産業用アプリケーションの進化を促進することを目指している。電気自動車に搭載されているパワーインバータへのSiCの利用が広がれば、より短時間の充電1回でより長い距離の走行が可能となり、これは消費者への普及を加速する重要な機能向上となる。ノースカロライナ州のダラムに本拠を置くウルフスピードは、ワイドバンドギャップ半導体市場のマーケット・リーダーであり、過去20年における世界の人工SiCの95%超を生産している。

## 持続可能なビジネス機会：

世界的なクリーンエネルギーへの移行により、化石燃料を使用する従来型の自動車から電気自動車への加速的転換が必要となっている。2021年、世界の電気自動車市場は、販売台数ベースで前年比100%超拡大した。同年、消費者は640万台超の電気自動車を購入したが、この数値は、2022年には1,050万台超まで増加すると予想されている。バッテリー技術の進歩は、この市場における最も重要な原動力の1つであり、革新的な技術により高い効率性とコスト削減を実現した。長い充電時間と走行可能距離に関する不安は、消費者の大きな悩みの種であるが、SiCはこの両方の懸念に対応している。

今後10年間の電気自動車市場のシェア争いに勝つのがどの企業かは、誰にもわからない。しかし、電気自動車の普及が年々増えていくことは確かである。ウルフスピードのような企業は、自動車業界に革新をもたらし、厳しい消費者の要求に応えることを可能にし、この市場拡大による果実を獲得するであろうとABIは見ている。SiCの導入を加速するというウルフスピードの目標は、自動車業界を超えて半導体市場全体に広がっている。

## 製品のハンドプリント：

SiCが800ボルトの電気自動車のパワートレインに使用された場合、投入エネルギー増分に対して、従来型シリコンチップが使用された場合と比べ、13分の1にエネルギーを節約する。この大幅な省エネは、走行距離の増加、車両の軽量化、及び充電時間の短縮を可能とし、それら全てが、長期的なエネルギー消費削減と環境の持続可能性向上につながる。電気自動車メーカーが、より効率的で、安く、高性能な電気自動車への需要に応えるべく改善を行っていく中、この追い風はますます強まるであろう。

## エンゲージメント・トピック：

ABIは、ウルフスピードの経営陣に対し、従業員の健康及び安全、役員報酬及び同社のカーボン・フットプリントを含むさまざまなトピックに関し、対話を継続する。

## SDGsへの貢献：

ウルフスピードは「2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる」という国連SDGsターゲット7.3に貢献している。

## ESGに関するリスク要因：

需要の高まりとともに、SiCの供給者間の競争も激化する。ESGの観点からは、半導体製造業者は、その生産に不可欠な溶鉱炉が消費するエネルギーによる、特定の環境リスクに晒されている。ウルフスピードは2019年、生産により消費するエネルギー単位（MWh）当たり収益ベースで、エネルギー生産性を倍増させるための計画始動に着手した。



# 健康

健康の増進は、先進国や新興国を問わず重要なテーマである。ABIは革新的な健康療法や治療法の開発、質の高い手頃な価格の医療へのアクセス推進、栄養価の高い食品やきれいな水の安定供給、身体的・精神的な健康の促進などに取り組んでいる企業に投資している。

## 医療イノベーション



医学は新たなフロンティアに到達しつつある。ABIは世界の膨大な医療ニーズに対応する革新的な治療法を開発するため、DNA解析の急速なコスト低下も利用し、斬新かつほとんどが試験的な方法で研究開発に取り組んでいる企業に投資している。

## 食の安全とクリーンな水



食糧安全保障は、安全で栄養価の高い十分な食料を、すべての人々がいつでも物理的及び経済的に手に入れられることで成り立っている。ABIは農産物の収穫量を押し上げ、増加する世界の人口に十分な食料ときれいな水を確保する企業に投資している。

## 良質な医療へのアクセス



世界の人口の少なくとも半分は、いまだに必要な医療サービスにアクセスできずにいる。豊かな国でも貧しい国でも、健康上の緊急事態は人々を破産や貧困に追い込む可能性がある。ABIは医療サービスの質の改善や医療サービスへのアクセス拡大に貢献し、そのコストを引き下げる製品やサービスを提供する企業に投資している。

## ウェル・ビーイング



豊かな社会を築くためには、あらゆる年代の人々が健康な生活を確保し、ウェル・ビーイングを増進することが重要である。ABIは健康にいい食材や運動、基本的な衛生用品や洗剤、火災検知・消火システムや産業プロセスの安全技術といった人命を守る製品などを通じ、心身の健康増進に貢献している企業に投資している。

## SDGsへの貢献：「健康」テーマに基づく組み入れ銘柄の例

投資テーマ「健康」に分類される企業は、健康の向上に資する製品やサービスを提供している。各企業は、SDGsに沿った製品及びサービスからの収益がどれだけあるかに基づき評価される。SDGsに関連する収益のエクスポージャーが最も高い企業の例を次に示す。

	ダナハー	バイオ・ラッド・ ラボラトリーズ	ラボラトリー・コープ・ オブ・アメリカ
	ライフサイエンス関連器具及び分子診断機器の設計・製造を手掛ける。同社の製品は、疾病の診断・治療、医薬品開発及び安価で質の高いヘルスケアへのアクセス向上を支援する。	ライフサイエンス関連の調査研究及び臨床診断市場向けに高度な技術機器を開発・製造する。同社の販売する製品は、幅広い疾病に関する検査・診断プロセスの自動化、調査研究コストの削減、研究プロセスの効率性改善のために使われている。	患者検査サービスを低コストで提供する企業であり、ゲノム解析やDNAシーケンス等、成長する「オーダーメイド医療」の分野に可能性を与える新しい診断技術へのアクセスを拡大する役割を果たしている。また、同社が保有する調査研究受託機関であるCovanceでは、臨床試験管理等の創薬サービスを提供している。
主要な関連SDGs			
サブテーマ	上質なケアへのアクセス	医薬分野におけるイノベーション	上質なケアへのアクセス
SDGsに貢献する収益の割合	100%	100%	100%
SDGsに貢献する製品・サービス	医療機器	科学機器	臨床試験サービス
エンゲージメント・トピックの実例	二酸化炭素排出、従業員の健康及び安全、製品の安全性及び品質、取締役会の独立性	ダイバーシティ&インクルージョン、人材開発	人材開発、ダイバーシティ&インクルージョン

# ケーススタディー：ステリス

## 企業概要：

ステリスは、病院、医療機器・医薬品製造業者向けの感染防止・消毒用製品及びサービスにおいて、業界をけん引する企業である。同社はオハイオ州メンターを拠点とし、消毒薬や洗浄用機器、手術台、機材管理システム及び手術室等におけるサプライ・配置ソリューションなどを供給している。ステリスの製品は、歯科医や医薬品製造業者でも使われており、医療機器や医薬品製造にて必要とされる消毒業務請負や検査サービスも提供している。

## 持続可能なビジネス機会：

新型コロナウイルスの出現は、疾病管理の重要性を高めた。ステリスの製品及びサービスは、患者にとって極めて危険となりうる感染を防止するために不可欠なものである。手術室の機器や機材が術後感染を防止すべく清潔で消毒された状態になれば、いかなる措置も上手く行くことはない。ステリスは、パンデミックの影響で一旦減少した医療処置件数が予想より速い回復を見せたことの恩恵に預かった。

パンデミックの中、新型コロナウイルス患者の治療にあたる医療関係者の安全を確保するためには個人用防護服（PPE）の消毒が不可欠であり、ステリス製品への需要が高まった。一方で、ステリスの安定した価格設定は、同社の収入を、使用された医療機器の台数より数パーセント高い水準で増加させ、利益を押し上げた。

## 製品のハンドプリント：

ステリスは、手術台、照明、キャビネット、空気循環システム及び科学洗浄液、滅菌保証製品、蒸気滅菌機等の消耗品を含む、一連の手術室用製品を取り扱っている。同社の製品は、有害な病原体による死亡や疾病を減少させる役割を果たしている。

## エンゲージメント・トピック：

ABIはステリスの元従業員とバックグラウンド・インタビューを実施し、品質に関する問題を発見し、新しいCEOに問題を提起した。例えば、一部の機器のドアが十分に密閉されておらず、滅菌状態が損なわれる可能性があること等である。また、ABIは、滅菌に必要な成分であるが、重大な環境リスクをもたらす可能性のあるエチレンオキシドの使用についても議論した。

## SDGsへの貢献：

ステリスは、「2030年までに、有害な科学物質、及び大気、水質、土壌汚染による死者数及び疾病数を大幅に減少させる」という、国連SDGsターゲット3.9に貢献している。

## ESGに関するリスク要因：

同社の製品及びサービスの性格上、最も大きなリスクは品質及び安全性に関するリスクであり、これらを管理するために人事管理、製品ガバナンス及び企業倫理が期待どおりに機能しているかについてモニタリングが不可欠であるが、ABIは、ステリスは確固たる環境ポリシーを実践していると見ている。



# エンパワメント

経済や社会の圧力によって多くのコミュニティが社会から疎外されています。ABはより多くの人々が自らが望む生活を送ることができるように持続可能な経済発展、雇用拡大、貧困撲滅、知識の共有、社会的共生を生み出すための、物理的、資金的、テクノロジーのインフラやサービスを提供する企業に投資している。

## 情報通信技術



情報通信テクノロジー（ICT）は、経済発展と社会福祉を実現する上で重要な役割を担っている。ABは持続可能な経済発展、雇用拡大、貧困撲滅、知識の共有、社会的共生を可能にする重要なICTシステムや部品を供給する企業に投資している。

## サステナブル・インフラ



公共のインフラストラクチャーは、活力ある社会を構築する屋台骨となる。ABはプロジェクトの計画、建設、運営段階にESG要因を考慮し、気候変動に対する抵抗力を持った物理的インフラを開発、維持、運営する企業に投資している。

## 金融アクセス



人と、中小企業を含む企業を金融システムにつなげることは、健全な経済や社会にとっての根本的な需要である。ABは透明性が高く、効率的で手頃な価格の金融サービスを提供し、取引の決済、保険、安全な貯蓄などを通じて、活気ある安全な世界の金融システムに貢献している企業に投資している。

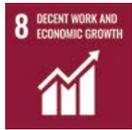
## 教育・雇用サービス



質の高い教育や雇用サービスは、持続可能な開発を可能にする重要な要因である。ABは専門家の育成や労働訓練に、教育サービス、製品及び備品を提供する企業に投資している。さらに、雇用の創出につながる就職支援サービスも重要である。

## SDGsへの貢献：「エンパワメント」テーマに基づく 組み入れ銘柄の例

投資テーマ「エンパワメント」に属する企業は、不平等・不公正の解消に寄与する製品やサービスを生み出している。各企業は、SDGsに沿った製品及びサービスからの収益に基づき評価される。SDGsに貢献する収益エクスポージャーが最も高い企業の例を次に示す。

	MSCI	カリックス	マイクロソフト
	<p>規制当局や投資家向けに、リスク分析及び市場の安全な運用のためのデータサービス、並びにESGレーティング及びインデックスを提供する。MSCIのESGインデックスは、ベンチマークにESG関連基準を組み込むことで長期的な持続可能性投資の観点からの業績測定を可能にするインデックスへの需要の高まりに応えるために設計された。</p>	<p>通信サービスプロバイダー向けに、クラウドサービス及びソフトウェア・プラットフォームをはじめとするシステム及びサービスを提供する。同社の顧客（サービスプロバイダー）の84%が、契約者25万人未満の事業者である。</p>	<p>生産性及び効率性向上をもたらす一連の製品及びテクノロジー・ツールをグローバルに供給する。同社は、「テクノロジーを全ての人に」というミッションに基づき、あらゆる国のあらゆるセクターにおける技術力を高め、イノベーションを促進し、グローバルな研究開発力を向上させる手助けとなる、次世代テクノロジー製品及びサービスを提供している。</p>
主要な関連SDGs			
サブテーマ	金融セキュリティ及びインクルージョン	情報・通信技術	情報・通信技術
SDGsに貢献する収益の割合	100%	100%	100%
SDGsに貢献する製品・サービス	財務データ	通信機器	コンピューター及びネットワーク・アクセス
エンゲージメント・トピックの実例	二酸化炭素排出、グリーンビルディングの事業機会、金融商品の安全性、労務管理、ダイバーシティ&インクルージョン	科学に基づく二酸化炭素排出削減目標、ダイバーシティ&インクルージョン、従業員の健康及び安全	二酸化炭素排出、ダイバーシティ&インクルージョン

# ケーススタディー：カリックス

## 企業概要：

カリックスはクラウドサービス及びソフトウェア・プラットフォームをはじめとするシステム及びサービスのプロバイダーである。同社はカリフォルニア州サンノゼに本拠を置き、通信サービスプロバイダー（CSPs）が多岐にわたるデジタルサービスを顧客に届けるにあたり必要とする製品やサービスを提供している。カリックスの一連の製品・サービスは、顧客がインテリジェント・ネットワークを運用するための拡張性の高いソリューションを提供する。同社のネットワーク・アーキテクチャー・プラットフォーム及び分析ツールによって、ブロードバンドサービスのプロバイダーは、適切な情報に基づいてネットワークの拡張を判断し、米国、中東、カナダ、欧州において、さらには国際的に、新しいサービスを迅速に展開することが可能になる。

## 持続可能なビジネス機会：

今世紀半ばにかけて人口が増加する中、世界は、eコマース、教育及びリモート・ヘルスケアへのアクセスを円滑化するグローバルなインターネットインフラを構築する必要性に直面する。カリックスのネットワークアクセス機器は、顧客が高速のインターネットに接続することを可能にすると共に、同社の顧客であるサービスプロバイダー側の運用コストを下げることに寄与する。

## 製品のハンドプリント：

近年、デジタル情報へのアクセスは人権の一部とみなされるほど拡大し、もはや一部の人の特権ではなくなった。一方で、ブロードバンドアクセスを世界中へ行き渡らせるまでには、まだ長い時間がかかる見通しだ。2021年現在、米国の2,000万超の世帯が高速インターネットへのアクセスを有しておらず、世界にはインターネットにアクセスできない人々が29億人超存在する。カリックスは米国の地方部における小規模インターネット・プロバイダーへのエクスポージャーが高く、同社の収入の80%超が、ブロードバンド契約者数25万人未満の顧客由来のものである。カリックスがこの顧客層にサービスを提供する範囲において、同社はサービスの行き届かない地域に確実なインターネットアクセスを直接提供していることとなる。

## エンゲージメント・トピック：

2021年のカリックスとのエンゲージメントにおいて、ABIは、ダイバーシティ&インクルージョン、人材開発、二酸化炭素排出、及び取締役会の独立性につき議論を行った。

## SDGsへの貢献：

カリックスは、「2030年までに情報・通信技術へのアクセスを大幅に拡大し、後発発展途上国におけるユニバーサルかつ安価なインターネットアクセスを供給するよう努める」という、国連SDGsサブターゲット9cに貢献している。

## ESGに関するリスク要因：

カリックスは大規模な顧客データにアクセスできることから、データ・プライバシー及びセキュリティのリスクにさらされている。同社は安全対策を実施しているが、これら措置に関する情報開示を行っていない。ABIは、同社の経営陣は重要なESGリスクを確実に管理し、確固としたカルチャーを醸成しており、米国における最も働きがいのある中小企業の1つに選ばれたことにもこうした強固なカルチャーが表れていると考えている。ファンダメンタルの観点では、同社のバランスシートは規模の大きい同業他社に比べやや見劣りするものの、事業内容を巧みに効率化することで優位性を獲得している。例えば、数年前には計4,000あった販売商品の最小在庫管理単位（SKUs）を、現在では350まで削減している。



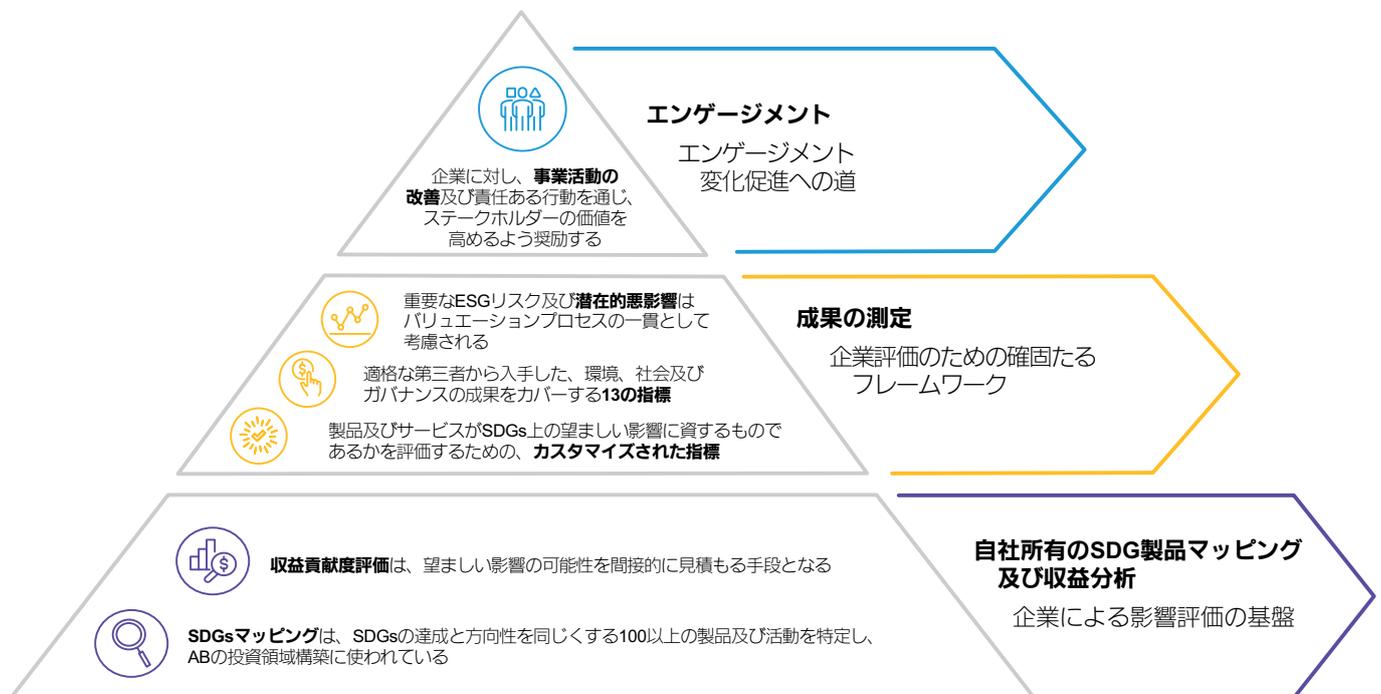
# 企業の「インパクト」を理解する

「インパクト」という言葉は、(特に株式市場の)アクティブ運用マネジャーや投資家の間で物議をかもし単語となりつつある。多くの投資家が、株式市場においてある企業に投資された資金が、どのようにして具体的な環境・社会への影響をもたらすかを説明することはほぼ不可能であると理解しており、株式投資が即座に特定のインパクトをもたらすと主張は誤解を招きかねない。

投資先企業によるインパクトを論じるためのABのアプローチは、サステナブル・テーマに貢献する企業に10年以上にわたり投資してきた経験を基に積み上げた、透明性の高い確かなものである。ABはアクティブ投資を行う運用会社として、最も有効な手段は、直接的、建設的かつ適切な情報に基づいたエンゲージメントであると考えます。そして、エンゲージメントは、その成果や企業の行動、製品、サービスが定義可能な持続可能性ターゲットに合致しているかをしっかりと測定し、追跡する強固な基盤に立脚したものでなければならない。

## 企業による影響の評価

影響を理解するための補完的アプローチ



2021年12月31日現在。出所：AB

## 製品からのインパクト

企業がどのように社会的価値を創出しようとしているかを理解することは、その社会的価値(及びインパクト)を把握するためにどのような指標を追えば良いのかという議論の出発点となる。例えば、SDGsは、企業の製品及びサービスが環境や社会に与える影響を評価するフレームワークとして利用できる。企業の製品やサービス内容をSDGs上にマッピングすることで、SDGsの成果に沿った製品に由来する収益、または逸脱した製品から得た収益の割合を測定できる。これによって、SDGsへのエクスポージャーに基づき、企業をプロットすることが可能となる。

企業の行動もまた、いくつかの方法により測定できる。ABの銘柄選択プロセスには、各社に関する伝統的な財務、戦略、事業の分析に加え、独自のESG測定手法が組み込まれている。さらに、ABは社外のデータを用い、同業他社と比較した当該企業のESG関連行動及びその変遷につき、より詳細に把握することもできる。これは、より持続可能性の高い企業に投資したいと望む投資家に対し、ポートフォリオがその要求を満たしているかを見極めるためにABが検討できる判断材料の1つである。

# ABサステナブル・グローバル・テーマ型株式運用戦略： 投資先企業の製品によるインパクト

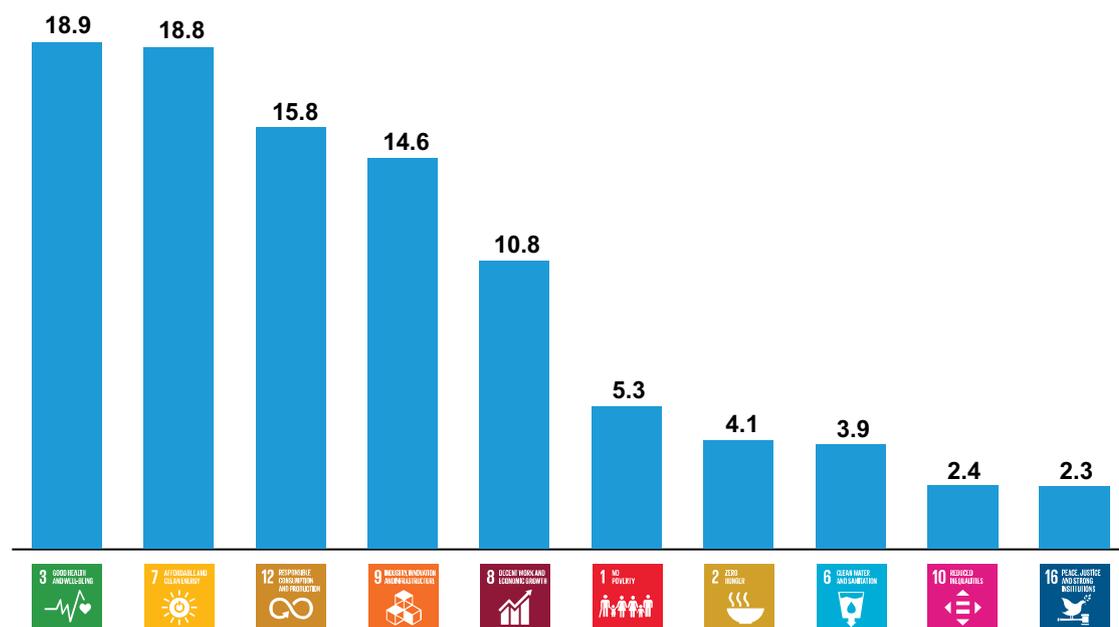
## SFDR分類：9条<sup>1</sup>

製品によるインパクト：社会に好ましい影響を与える企業への投資

AB独自の手法で、SDGsに貢献する収益の割合を評価する

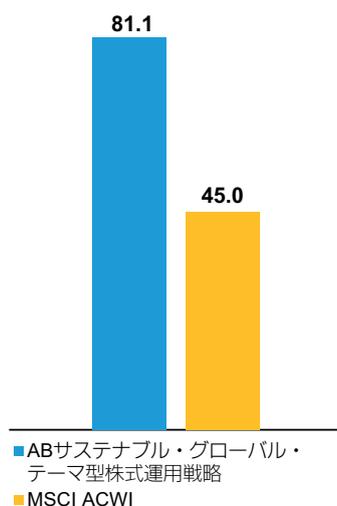
## 主要SDGsへの貢献状況<sup>2</sup>

ポートフォリオ・ウェイト (%)



## SDGs関連収益へのエクスポージャー<sup>3</sup>

加重平均 (%)



図表は例示のみを目的としています。各SDGは、17の目標それぞれの達成に向けた進捗を評価するための、一連の具体的なターゲットを含んでいます。

<sup>1</sup> Sustainable Financial Disclosure Regulation (SFDR) (持続可能な金融開示規則) 分類は、欧州連合 (EU) 規則2019/2088に準じ、その目的に応じて策定されたものであり、戦略が将来の投資家の投資ニーズに見合っているか否かにつき、網羅的な情報を提供することを想定していません。9条 (ダークグリーン) ファンドは、持続可能な投資または二酸化炭素排出削減をその目的として設立されたファンドです。

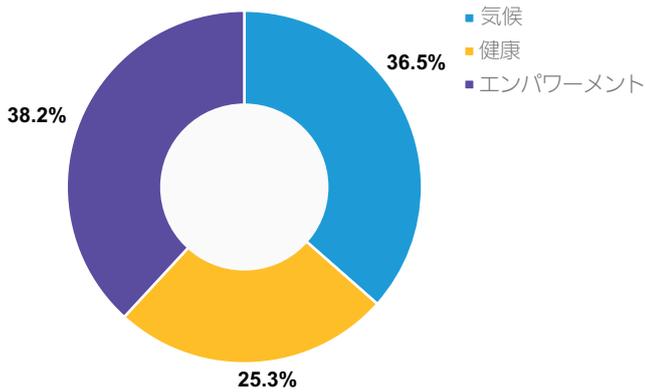
<sup>2</sup> ABは、具体的なSDGsターゲットにマッピングされた企業の製品及びサービスに基づき、当該企業の収益のうちどれだけが主要SDGsに貢献しているかを判断します。

<sup>3</sup> 製品による影響は、SDGsに対する純収入のエクスポージャー (SDGs貢献製品の収益から逸脱製品の収益を差し引いたもの) に関するABの評価を反映しています。キャッシュ・アロケーションがあるため、数値の合計は必ずしも100にはなりません。

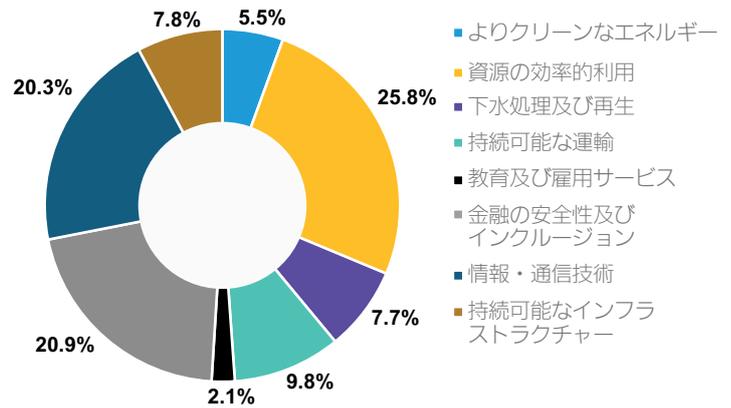
2021年12月31日現在。出所：MSCI、国際連合、AB

# ABサステナブル・グローバル・テーマ型株式運用戦略： 投資先企業の製品によるインパクト

## 投資テーマ別ポートフォリオ・アロケーション



## 投資サブテーマ別アロケーション

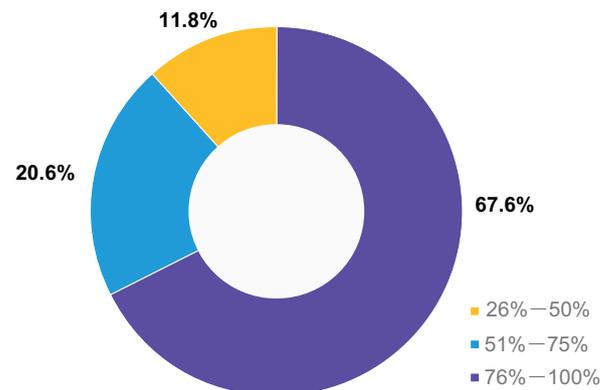


図表は例示のみを目的としています。  
2021年12月31日現在。出所：AB

## 収益分析

収益分析は、持続可能な製品及びサービスを生産・販売する企業を特定するための重要な手段である。ABのサステナブル運用プロセスにおいては、会社が収益全体の少なくとも25%をSDGsに関連した製品やサービスから得ており、かつ、SDGsから逸脱しているとABが見なす分野に直接の関与がないことが条件となる。逸脱分野には、風俗、アルコール、石炭、問題のある武器、銃火器、賭博、遺伝子組み換え生物、軍事請負、刑務所及びタバコが含まれる。より詳細な情報については、ABの『除外ポリシー』（英語）をご参照いただきたい。

## サステナブルな収益のエクスポージャー



図表は例示のみを目的としています。  
出所：AB

キャッシュは除きます。  
2021年12月31日現在

# ABサステナブル・グローバル・テーマ型株式運用戦略： 企業行動へのインパクト

サステナブル運用の成果を測定する方法は多岐にわたる。ABIには取り組みの影響を評価する具体的なフレームワークがあるが、運用戦略の位置づけを表す数多くの指標も存在する。ABIはESGファクターに関する一貫した報告を行い、顧客の資金がどこに配分されているかが分かるように努めている。財務の観点からは、ABが特定したESGファクターは、企業がその対処を怠れば、重要なリスクとなる可能性があることに留意しなければならない。このように、ABIは、堅調な相対パフォーマンスとこれら指標の継続的な改善を図っている。

## 取り組みによる影響：企業のESG関連への取り組みへの対応

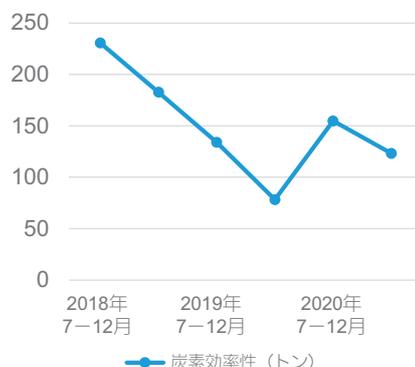
項目	定義	望ましい方向性	ABサステナブル・グローバル・テーマ株式運用戦略	MSCI ACWI
炭素効率性	収入100万米ドル当たり温室効果ガス（GHG）排出量（トン）	↓	125.5	156.2
二酸化炭素排出	年間何千トンものスコープ1及び2のGHGが排出されている	↓	1,919.4	4,988.0
廃棄物の効率性	収入100万米ドル当たりの廃棄物量（トン）	↓	6.0	275.6
廃棄物の発生	年間何千トンもの廃棄物が発生している	↓	54.2	6,771.0
効率的な水利用	収入100万米ドル当たりの真水使用量（立方メートル）	↓	10.7	8.3
水利用	年間何千トンもの真水が使用されている	↓	169,808.1	207,539.2
水不足の防止	地理的な水利用状況（世界資源研究所は、最も水が不足している地域から水不足がほとんどない地域まで、0-5のスケールで示している）	↓	2.6	2.5
取締役会のダイバーシティ	取締役会及び経営上層部に占める女性の割合	↑	23.9	24.8
雇用	経済活動地域の失業率のポートフォリオ加重平均値	↓	5.5	5.7
経済的發展	経済活動地域の所得中央値のポートフォリオ加重平均値（米ドル）	↓	46,352.0	46,443.0
経営幹部の報酬	経営幹部の報酬と従業員の平均報酬の比率	↓	55.0	78.8
取締役会の独立性	独立取締役の割合	↑	78.1	76.3
タックス・ギャップ	企業の節税スキームにより回避された納税額の推定割合	↓	3.0	3.0

2021年12月31日現在。出所：ブルームバーグ、Impact Cubed、MSCI、World Resources Institute、AB。Impact Cubedのデータは、ウェイトベースでポートフォリオ全体の97.3%をカバーしています。

## 企業のESGに関連する取り組みの推移：サステナブル・グローバル・テーマ

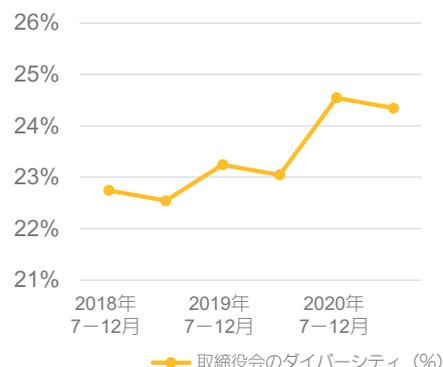
### 環境

炭素効率性：収入100万米ドル当たり温室効果ガス（GHG）排出量（トン）



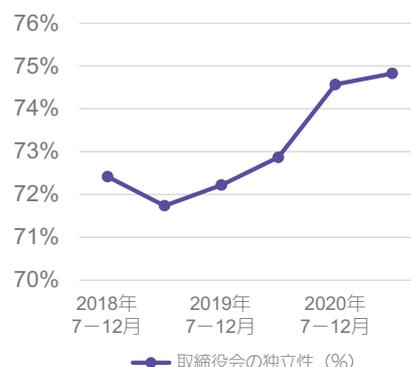
### 社会

取締役会のダイバーシティ：取締役会及び経営上層部に占める女性の割合



### ガバナンス

取締役会の独立性：独立取締役の割合



重要なESG課題に対する意識的かつ粘り強いエンゲージメントは、ABサステナブル・テーマ株式運用戦略の特徴です。本質的なエンゲージメントは、企業の商慣行を良い方向に変え、時とともに、ステークホルダーに対し、社会面及び経済面双方における価値をもたらす可能性を秘めています。ABIはこれらの指標を自身のリサーチ強化のために活用しており、企業の行動及びABのエンゲージメント戦略を捕捉するのに役立っています。元となるデータ・ソースとして利用しているデータ・プロバイダーは、ポートフォリオ銘柄の92%をカバーしています。Impact Cubedのデータは、ウェイトベースでポートフォリオ銘柄全体の97.3%をカバーしています。

# 企業行動：変化をもたらすエンゲージメント

企業の経営陣とのエンゲージメントは、変化を促す目的で株式アクティブ・マネジャーが使う、きわめて重要な手段である。

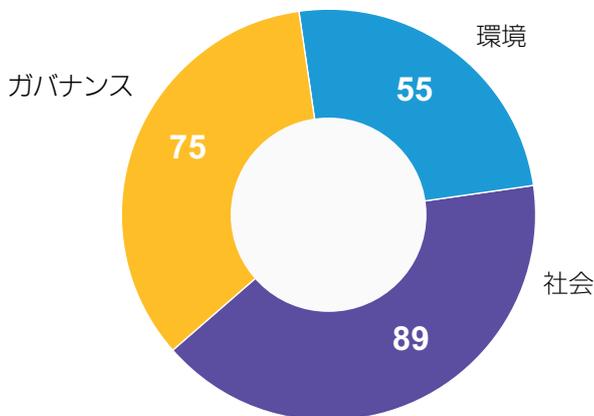
株主兼アクティブ・オーナーとして、ABIは、重要な財務及び社会的課題について、継続的に経営陣とのエンゲージメントを行っている。このタイプのエンゲージメントは、企業が望ましい社会的成果に貢献するとともに経済的価値を高めるというESG関連活動の改善に、積極的かつ熱心に取り組むことを確保するための最善の方法である。しかしながら、エンゲージメント戦略は一律ではない。一部のポートフォリオ・マネジャーは、会社にEメールを一通送ることが、（例えその返事が来なくとも）エンゲージメントの回数にカウントされるかとも知れないが、ABではそうは考えていない。エンゲージメントとは、経営陣と生産的なパートナーシップを構築し、さまざまな領域における長期的な発展を目指すものであるというのが、ABの考え方である。これは、経営陣と友人になることを意味するものでなく、しばしば意見が相反する問題についても、互いを尊重しつつ、投資家が影響力を行使し望ましい変化を促すことを可能にする関係性を構築することを意味する。

このようなエンゲージメントには、時間、忍耐、そして何年にもわたるさまざまな試みが必要となる。投資家は、真の変化は一夜にして成るものではないことを理解しなければならない。企業に対し、より持続可能な未来に向けた適切な行動を採るよう説得を行う場合、このようなアプローチは、敵対的な態度よりも効果的であることが多い。ABIは、望ましい変化を促すために積極的役割を担うことが、最終的には業績改善にも資するものとなり、長期的なリターンポテンシャルを支えると考えている。

ABは、何年にもわたり、企業に、過度な報酬体系を抑制し、環境及び社会に責任を持ったサプライチェーンを構築し、事業戦略とは関係性の低い事業を売却するよう提案してきた。当運用チームは、エンゲージメント活動の状況を半期ごとに報告し、注目すべき具体的事例を紹介している。2021年には、当運用チームは60社の企業に対し104回のエンゲージメントを実施し、219の課題につき議論した。課題の内訳は、環境が55、社会が89、そしてガバナンスが75であった。

## ABのサステナブル・グローバル・テーマ株式運用戦略：2021年エンゲージメント・サマリー

カテゴリ別エンゲージメント数



ABIは、質の高いエンゲージメントを行うには、運用チームと、投資先企業または投資候補企業の経営陣に加え、サプライヤーや顧客との間で行われる、一対一または少人数のやり取りが重要と考える。

エンゲージメントの目的は、対象企業の業務及び企業文化をより良く理解し、十分な情報に基づいたリサーチ結果を導き出すことである。ABの役割は、耳を傾け、学び、そして、ABが望ましいと考える改善の方向性への提案やアドバイスを行うことである。

それらの対話の中で、ABIは情報やアイデアを交換し、企業や投資家間に新しいESGの知見を生み出し、広め、そして企業と投資家間の多様な交流の円滑化を図っている。

図表は例示のみを目的としています。

2021年12月31日現在。出所：AB



## エンゲージメントの実践

アブカムは、研究用の抗体を提供するリーディング・カンパニーであり、健康関連分野での研究や、新薬開発、診断テストなどをサポートしている。アブカムの抗体は世界の70万人以上のライフサイエンス研究者の3分の2に利用され、ライフサイエンス研究論文の半数以上で引用されている。そして現在、急速に進む新分野への対応と、さらなる市場シェア拡大を目指し、製品の検証やより高度なデータ分析能力への投資を進めている。アブカムは、新興国を含む世界中の科学研究の質とアクセシビリティを高めており、「医療イノベーション」のサブテーマに沿っている。その事業は、公的・私的な支出による研究開発活動の活性化に直接結びついている。アブカムにとって、研究実験用の新しい抗体を発見、設

計するための科学分野における優秀な人材は非常に重要だが、2020年、MSCIは、アブカムは人材育成を十分に行っていないと報告した。人的コストは、同社の事業コストの約3分の2を占めている。成功のためには、多様な背景を持つ人材を含め、人材を惹きつけ、維持することが重要だ。ABは、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の取り組みについて、アブカムと数回にわたり対話を行い、定着率を高めることを目的とした新しい社員持ち株制度の開発についてフィードバックを行った。先日の決算説明会で、経営陣は、D&Iの課題に対する取り組みを開始したことを発表した。具体的には、多くの分野で従業員リソース・グループ(ERGs)の立ち上げや、同社初のD&I責任者の採用など

も含まれる。またアブカムは、D&I目標に関連するESG指標を初めて年次ボーナスプラン(ABP)に取り入れたが、これはインセンティブ報酬におけるESG指標に関するABの会社全体のキャンペーンの一環として、2020年秋にABが行ったものである。また、経営陣は「責任ある持続可能なビジネスを成長させることが重要であるという有益なフィードバックを株主から多くいただいています。」と述べた。アブカムは、ESGアジェンダ全体の目標を調整するためにABPの使用を継続することを計画しており、2021年には炭素強度や埋立地への廃棄物データに関する環境情報開示を増やすことを視野に入れている。

# グラスルーツ（草の根）リサーチ

## 合成生物学の革命

サステナブル・テーマ株式運用戦略の運用マネジャーとして、ABは、将来を見越した持続可能なテーマを見出すには、異なる次元の知見が必要であると考えている。ABIは、社会、経済、そして企業を形作るトレンドを評価するには、環境及び社会の変化に影響を受け、またはそれを支援している人々やコミュニティに注目すべきと考える。そのような知見を得るために、ABIは、投資プロセスに、世界中を周って現地調査を行う「グラスルーツ（草の根）リサーチ」と呼ばれるものを取り入れている。このリサーチを通じ、ABのサステナブル・テーマ株式運用戦略の運用チームは、持続可能性に関する重要なトレンドに関する理解を深めることを目指している。2021年、ABのチームは、従来の現地調査に替え、合成生物学に焦点を当てた総合的なリサーチ・プロジェクトを実施した。

何千年もの間、人類は、ビールやチーズ等さまざまなものを作り出すために、菌類（例えば酵母）やバクテリアの力を借りてきた。1970年代、科学者達は、酵母の細胞内のゲムを変化させるとインスリンを生産し、それが糖尿病治療に使えることを発見した。やがて、このゲムエンジニアリングの手法は多様な薬剤の開発に活用されるようになり、今日、我々がバイオテクノロジー産業と呼ぶものを創り出した。もはや、この「合成生物学」の手法は、高価なバイオ医薬品に限られたものではない。

ゲムエンジニアリングが容易になり、テクノロジーコストが低下するにつれ、素材や成分などのニッチな領域が、イノベーションへのアクセス拡大の恩恵を受けている。例えば、化粧品の主要な成分であるスクワランは、従来、鮫の肝臓から採取されていた。現在では、鮫のDNAを酵母に導入し、その酵母が同一のスクワランを生成するという、より持続可能な製法が実現している。

マッキンゼーの試算によれば、「グローバル経済への物理的インプットの60%程度が」合成生物学により生産可能である。科学者達は、既存の素材の代替品を作り出すのみならず、これまでは想像の産物でしかなかった全く新しいものを発明するために、合成生物学を活用している。将来的には、植物にセンサーが組み込まれ、土壌の状態について農業従事者にアラートを出すようになるかもしれない。ハマグリゲムのゲムを基に、新たな接着剤が開発されるかもしれない。

過去20年の間に、ゲム解析のコストは百万分の一に低下した。このことは、科学者に、ボタン一つで新しいゲムを一から創り出す力を与え、狙いどおりの変化をゲムに加えるツールの発見を可能にした。また、膨大なゲムデータの解明を可能にするAI・機械学習アルゴリズムの開発を促進した。これらのテクノロジーが集結し、さまざまな最終市場における合成生物学上の発見を加速している。

ABがサステナブル・テーマ株式運用戦略にて保有する企業のうち数社は、合成生物学の「ゴールドラッシュ」において鍵となる「つるはしとショベル」を販売している。例えば、ダナハーは、新たな素材の発見・開発のために実験室で使われる機材や消耗品を製造している。上場株式市場への新規参入も増えており、合成生物学関連の投資機会は急速に拡大している。

投資家はまた、合成生物学の登場により、化学、素材、及び成分業界の既存の大企業が置かれる状況が、ますます厳しくなっていることも注視すべきである。加工食品に含まれる味や食感の素材からコンクリートに至るまで、形ある製品を作っている数多くの企業が、合成生物学を受け入れるか、それともそれを導入した企業とのより厳しい競争に直面するかを選択を迫られるであろう。ちょうど、小売業やその他の事業が、商売を行う基盤としてインターネットを受け入れたように。

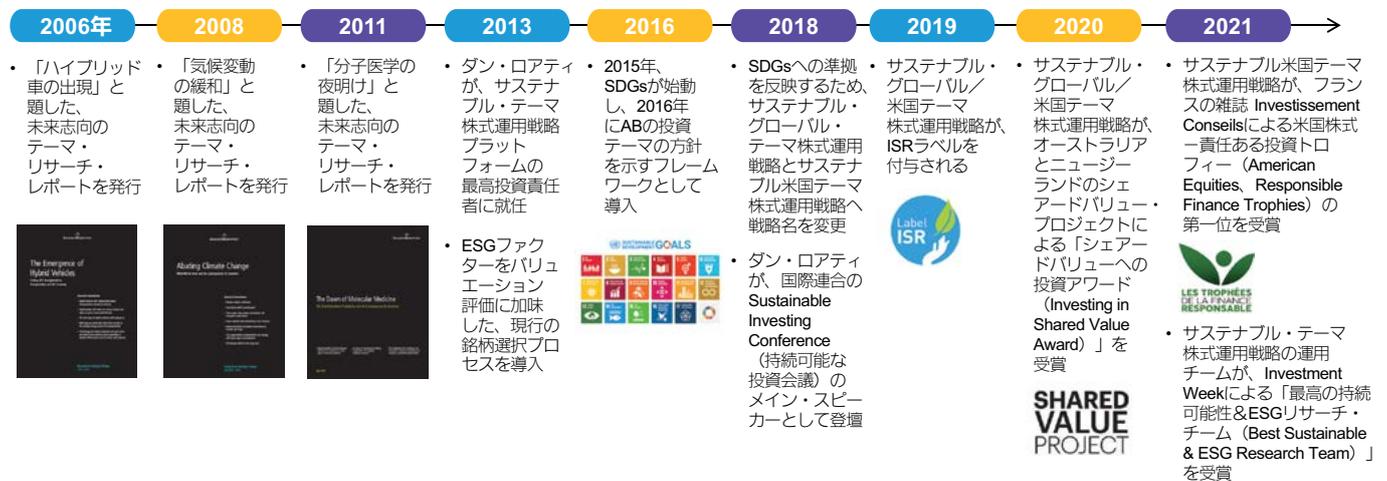
合成生物学は、エコロジカル・フットプリントを減少させるために不可欠なツールであるという見方が強まっている。合成生物学を利用した素材生産は、その適用方法によっては、二酸化炭素排出を最大で90%削減できる。合成生物学は、化石燃料から作られるプラスチック等を代替する、新しく、完全に生分解可能な物質を生み出すことができるかも知れない。二酸化炭素をも材料として使い、エコロジカル・フットプリントをさらに改善するような合成生物学プロセスも開発されている。ABは、本リサーチ・プロジェクトを継続する中で、投資家に最新の情報を提供し続ける。さらに詳細な情報については、ABのホワイトペーパー『[The Synthetic Biology Revolution: Investing in the Science of Sustainability](#)』（英語）をご参照いただきたい。



# ABのサステナブル・テーマ運用の歴史

将来を見据えたABのテーマ・リサーチの起源は、2000年代初頭にさかのぼる。サステナブル・テーマ株式運用戦略の運用チームは約20年にわたり、さまざまな持続可能性に関する問題を調査し、レポートを発行してきた。当チームは、他に先駆けてSDGsを投資プロセスの原動力として正式に導入した資産運用チームの1つである。

## サステナブル・テーマ・リサーチへの数十年にわたるコミットメント



個々のロゴマーク、ブランド、その他商標は個々の権利の所有者に帰属します。当資料においては例示のみを目的としており、各商標保有者の商品の推薦、スポンサーを目的としたり、商標所有者との提携や資本関係を示すものではありません。

2021年12月31日現在。出所：AB

# 運用チーム



**ダン・ロアティ<sup>1</sup>**  
**サステナブル・グローバル・テーマ株式運用  
 最高投資責任者**  
 業界経験年数：29年  
 AB在籍年数：11年



**エイミー・ヤン<sup>1</sup>**  
 クオンツ・アナリスト  
 業界経験年数：9年  
 AB在籍年数：9年



**ベン・ルーゼッガー<sup>1</sup>**  
 共同ポートフォリオ・  
 マネジャー／  
 テクノロジー担当  
 業界経験年数：21年  
 AB在籍年数：21年



**クレア・ウォルター<sup>1</sup>**  
 資本財、  
 テクノロジー担当  
 業界経験年数：3年  
 AB在籍年数：3年



**デビッド・ウィーラー<sup>1</sup>**  
 エネルギー、  
 資本財・サービス担当  
 業界経験年数：30年  
 AB在籍年数：14年



**エド・ブライアン<sup>1</sup>**  
 ヘルスケア担当  
 業界経験年数：15年  
 AB在籍年数：15年



**ジョセフ・サン<sup>1</sup>**  
 消費関連担当  
 業界経験年数：12年  
 AB在籍年数：11年



**サラ・タネル<sup>1</sup>**  
 金融担当  
 業界経験年数：5年  
 AB在籍年数：5年



**ウィリアム・  
 ジョンストン<sup>2</sup>**  
 金融担当  
 業界経験年数：36年  
 AB在籍年数：24年

## 運用チーム平均\*

業界経験年数 **17**年

AB在籍年数 **13**年

AB関係会社社員を含みます。メンバーは変更される可能性があります。

<sup>1</sup>アライアンス・バーンスタイン・エル・ピー（米国）在籍、<sup>2</sup>アライアンス・バーンスタイン・リミテッド（英国）在籍

\*運用チーム平均にはプロダクト・スペシャリストは含まれません。

2021年12月31日現在

# サステナビリティ：投資家のためのロードマップ

2022年初頭、パンデミック後の回復へのシナリオは変化している。歴史的な景気刺激策、経済の再開及び繰越需要は、サプライチェーンの寸断、インフレ率の上昇、増税そして経済成長率の鈍化に取って替わられることとなった。かかる変化は、投資家にとってより困難な状況を作り出している。

投資家は、マクロ経済の変化を把握しようとするより（これが極めて難しいことは歴史が証明している）当レポートで提示した3つのサステナブル投資テーマ（気候、健康、エンパワーメント）に関連する企業にフォーカスすべきだとABでは考える。これらのテーマは、経済循環の影響をあまり受けない、力強く長期的な追い風に後押しされているからだ。

現在、世界の137カ国が、今世紀半ばまでの二酸化炭素排出ネットゼロを誓約している。クリーンエネルギー、持続可能な交通手段及び資源効率化ソリューション等

により、国家によるネットゼロ目標達成を支援する企業は、向こう数十年にわたって力強い成長機会を享受するだろうとABは考える。

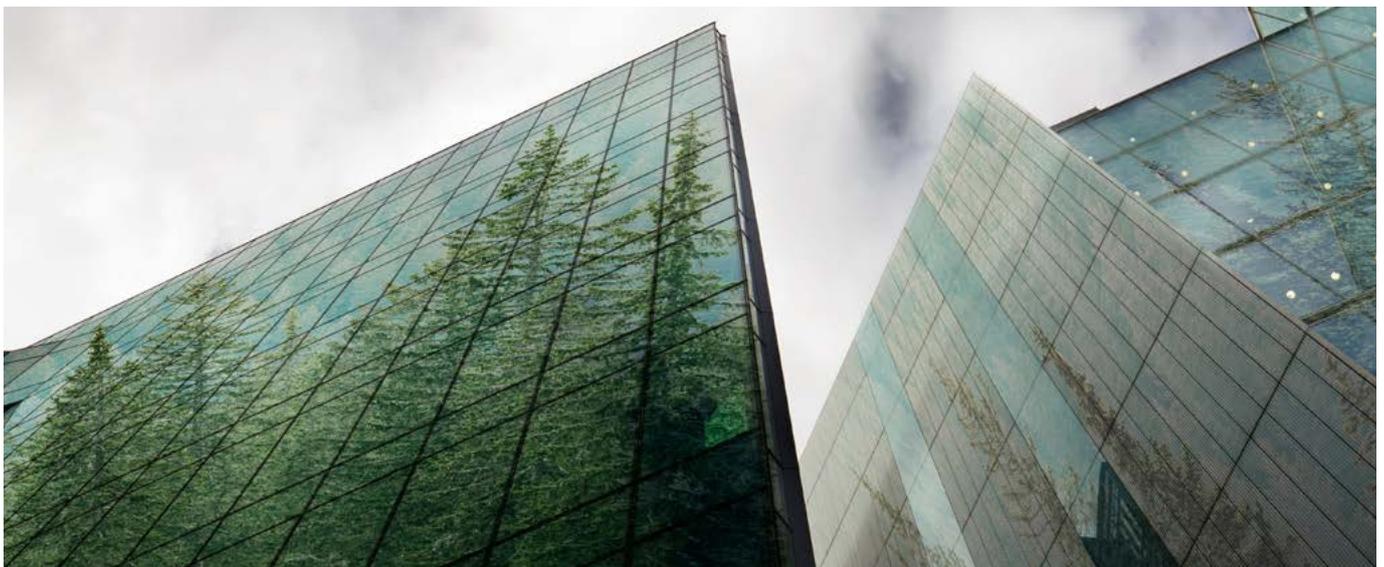
今日、必要不可欠なヘルスケア・サービスを受けられるのは世界の人口の半分以下であり、世界人口の4分の1が、食料不安に直面し、安全に管理された飲料水を入手できない。ヘルスケア、食料安全保障及び清潔な水へのアクセス拡大を含む健康関連テーマも、同様に魅力的な長期的需要の恩恵を受ける。

そして、我々は、世界人口が今世紀半ばまでに増加する約20億人分の追加的人口に対して、住居、教育、交通及び雇用を提供し、経済的安定性を構築するという、巨大なエンパワーメント問題に直面することとなるだろう。

経済サイクルの短期的な紆余曲折を正確にまたは一貫性を持って予測するのは、

いつの時代においても困難なことである。実体経済の変化に対し、市場参加者がどのように反応するか（または過剰反応するか）を予想し続けるのは、さらに難しい。

持続可能な投資において、時間をかけて価値を生み出すためには、このような短期的動向を正確に予測する必要はない。ABは、それよりも、ファンダメンタルズの強さやサステナブル・テーマの長期的魅力（それらの多くがコロナ禍の中で強化された）、そしてそれらを推進する企業にフォーカスする。ABは、長期的リターンをもたらす一方で、パンデミックからの回復とその先の世界における望ましい環境・社会の形成を促進することにまい進する中で、このようなアプローチは、ABのポートフォリオに優位性を与えてくれると信じている。



当資料は、2022年3月現在の情報を基にABが作成したものをアライアンス・バーンスタイン株式会社が翻訳した資料であり、いかなる場合も当資料に記載されている情報は、投資助言としてみなされません。当資料は信用できると判断した情報をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また当資料の記載内容、データ等は作成時点のものであり、今後予告なしに変更することがあります。当資料で使用している指数等に係る著作権等の知的財産権、その他一切の権利は、当該指数等の開発元または公表元に帰属します。アライアンス・バーンスタイン及びABには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーンスタイン株式会社は、ABの日本拠点です。

## 当資料についての重要情報

当資料は、投資判断のご参考となる情報提供を目的としており勧誘を目的としたものではありません。特定の投資信託の取得をご希望の場合には、販売会社において投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず詳細をご確認のうえ、投資に関する最終決定はご自身で判断なさるようお願いいたします。以下の内容は、投資信託をお申込みされる際に、投資家の皆様に、ご確認いただきたい事項としてお知らせするものです。

### ・投資信託のリスクについて

アライアンス・バーンスタイン株式会社の設定・運用する投資信託は、株式・債券等の値動きのある金融商品等に投資します（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）ので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、全て投資者の皆様に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。リスクの要因については、各投資信託が投資する金融商品等により異なりますので、お申込みにあたっては、各投資信託の投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等をご覧ください。

### ・お客様にご負担いただく費用：投資信託のご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります

- ・ 申込時に直接ご負担いただく費用 ... 申込手数料 上限 3.3%（税抜 3.0%）です。
- ・ 換金時に直接ご負担いただく費用 ... 信託財産留保金 上限 0.5% です。
- ・ 有期間に間接的にご負担いただく費用 ... 信託報酬 上限 2.068%（税抜 1.880%）です。

その他費用 ... 上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。目論見書、契約締結前交付書面等でご確認ください。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アライアンス・バーンスタイン株式会社が運用する全ての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

## ご注意

アライアンス・バーンスタイン株式会社の運用戦略や商品は、値動きのある金融商品等を投資対象として運用を行いますので、運用ポートフォリオの運用実績は、組入れられた金融商品等の値動きの変化による影響を受けます。また、金融商品取引業者等と取引を行うため、その業務または財産の状況の変化による影響も受けます。デリバティブ取引を行う場合は、これらの影響により保証金を超過する損失が発生する可能性があります。資産の価値の減少を含むリスクはお客様に帰属します。したがって、元金及び利回りのいずれも保証されているものではありません。運用戦略や商品によって投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。また、ご投資に伴う運用報酬や保有期間中に間接的にご負担いただく費用、その他費用等及びその合計額も異なりますので、その金額をあらかじめ表示することができません。上記の個別の銘柄・企業については、あくまで説明のための例示であり、いかなる個別銘柄の売買等を推奨するものではありません。

当資料におけるSDGsのロゴ・アイコンは、情報提供目的で使用しています。国際連合が当運用についていかなる責任も追うものではなく、また支持を表明するものでもありません。

## アライアンス・バーンスタイン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

【加入協会】一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会

